

北日本漁業経済学会 ニュースレター

2016年春季研究集会開催案内・一般報告募集

桜花の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、北日本漁業経済学会では昨年に引き続き、春季の研究集会を下記のとおり開催することになりました。つきましては、広く一般発表報告を募集いたしますのでふるってご応募いただけますようここにご案内申し上げます。

一般報告申し込み

・締め切り: **5月6日(金)**

・申込先: miyazawa * fish.hokudai.ac.jp

※*を@に換えて送信してください

・041-8611 函館市港町3-1-1 北大水産学部 宮澤晴彦(学会理事)

* 発表者氏名・所属・題名・懇親会参加の有無をメールでお送りください(郵便可)。

* 報告要旨の提出は不要です。配布資料は各自60-70部程度、当日ご持参ください。

* 報告の時間は20分としますが、発表の順番については事務局に一任してください。

春季研究集会

と き 2016年5月13日(金)10:00-17:00

ところ 東京水産振興会豊海センタービル2階会議室

交通: 東京駅または有楽町駅から豊海水産埠頭行き終点バス停前

参加費: 500円(非会員の方も参加自由)

【プログラム】

◇開会あいさつ 二平 章(北日本漁業経済学会会長) 10:00

◇一般報告 10:10~12:00

◇理事会 12:00~13:00

◇特別シンポジウム:「東日本大震災後の水産業と漁村」 13:30~17:30

コンビーナー: 片山知史・山崎誠・二平章

趣 旨:

東日本大震災から5年経過した。

復旧・復興の程度の指標として、漁船漁業および養殖の漁獲量・生産量が震災前の水準の約7割に達したという情報が度々用いられている。しかし、就業者数は約4割に留まっていると推測される。また漁村や水産地区では、延々と嵩上げ造成や防潮堤の工事が続けられ、住民の生活や産業の姿がほとんど見えない状態である。

潤沢な復興予算に支えられてきた5年間を経て、種々の施策の検証を通して、改めて何が問題なのかを抽出すべき時期に入っていると考えられる。

本シンポジウムは、今後の中期的な漁業・水産業・漁村の姿を見据えて、現場の課題を整理することを主題に開催するものである。

13:30 会長挨拶

13:35 趣旨説明

13:40 話題提供

1. 片山知史(東北大)「漁業者減少・人口流出問題」
2. 大浦佳代(海と漁の体験研究所)「漁村交流の取り組み」
3. 田村直司(岩手大)「岩手県の漁村の現状と課題」
4. 加瀬和俊(帝京大)「漁協経営問題」

15:40 総合討論 ※終了時刻 17:00

◇懇親会

豊海センタービル 1階レストラン「GOTO」(懇親会費3,300円)

※非会員の方も参加自由

【連絡先】

現地実行委員長:理事 渡邊一功(漁業情報サービスセンター)

電話:090-5322-2411

E-mail kazuwata-5252 * asahinet.jp

※*を@に換えて送信してください

個人会費納入のお願い

本会の会計年度は、毎年秋に大会・総会を開催する関係で、10月～翌年9月となっています。2015年度(2015年10月～2016年9月)の会費納入をお願いいたします。会計事務の遅れから、2014年度の会費納入のお願いを昨年秋におこなった関係で、前回の会費納入から半年しか経っておりませんが、なにとぞご協力をお願いいたします。

なお、昨年11月から古林英一(北海学園大学経済学部)が会計事務を担当することになりましたので、会計関係のお問い合わせは、下記をお願いいたします。

062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 北海学園大学経済学部古林研究室

tel. 011-841-1161(内2633) E-mail a-ichi * econ.hokkai-s-u.ac.jp

※*を@に換えて送信してください

北日本漁業経済学会事務局(事務局長:宮澤晴彦)

※北大函館キャンパスに移転しました。

041-8611 函館市港町3-1-1 北海道大学水産学部海洋共生学講座

TEL 0138-40-8834 E-mail miyazawa * fish.hokudai.ac.jp

ウェブサイト <http://rose.hucc.hokudai.ac.jp/~h14306/index.html>

※*を@に換えて送信してください